

# 定塚小だより

平成30年度10月号  
高岡市立定塚小学校  
平成30年10月25日

## 「啐啄の機」をどう捉えるか ―学習発表会で考えさせられたこと―

校長 鳥内 禎久

私が担任をしていた頃、当時の校長先生から、「君の指導は啐啄の機を捉えていない」とお叱りを受けたことがありました。「啐啄の機」とは禅の言葉で、鳥が孵化する時、雛が卵の殻の内側からコツコツと叩きます。親鳥はこの機を逸せず殻の外から同じ場所をつつき、雛は殻をやぶることができます。このタイミングが合わなければ、卵の殻は割れず、雛は死んでしまいます。両者の息が合って機縁が熟したときに、雛鳥が誕生することを表しています。このことは、教育においても言えることです。教師だけががむしゃらに授業や行事に取り組んでも、子供の思いや実態とかけ離れては、させられているだけで意味のないものになってしまうからです。



さて、10月21日に学習発表会が行われました。練習段階から取組を見ていると、一人一人の自己肯定感や自己有用感を高める工夫が随所になされていました。私なりに分析すると、1年「みのむし同士の目の合わせ方」2年「リズムに合わせてダンスをした後のポーズの決め方」3年「群読と台詞のバランス」4年「台詞を言っていない時の表情」5年「息の合った演奏や指揮者との一体感」6年「聞き手を意識した表現」など、先生方は子供の成長する瞬間を見逃さず、まさに啐啄の機を大切に指導しておられました。また、5・6年生の準備、後片付けなどの活動は目を見張るものがありました。まさに「誰かのために心を動かし役に立てた幸せ」を掴んでいました。



学習発表会が終わり、子供たちは、「ランニング大会」に向けて頑張ることになります。確かに、マラソンの練習はつらいものですが、乗り越えた先に、他の行事とは違った満足感や達成感が得られることも事実です。ぜひ、ご家庭での励ましの言葉をお願いします。

## 今日の定塚っ子



### 第4区域連合音楽会(10月10日)

高岡市第4区域(下関・野村・平米・二塚・定塚)の5年生(一部の学校は4年生含)が集まり、今まで音楽の時間等で練習した、合唱や合奏を互いに発表しました。

### スポーツ大会(10月9~10日)

低・中・高学年に分かれ、バスケットボールとドッジボールに汗を流しました。互いに応援し合い、異学年の交流も深まった楽しい大会になりました。



### ほほえみの会(10月23日)

2年生が一人暮らしの高齢者のつどい(ほほえみの会)に招待され、ダンスを踊りました。参加者から、たくさんの笑顔と拍手を頂き、大満足でした。